

# 市民対話集会「ふれあいトーク」報告書

主催：倉吉男女共同参画推進会議

とき：平成29年7月10日（月）13：30～15：00

ところ：倉吉未来中心 セミナールーム6

テーマ：「倉吉市で日本女性会議を開催しよう」

～男女共同参画の視点で倉吉をどう発展させるか～



<主な意見について（抜粋）>

## ◆男女共同参画の現状について

- 「倉吉市男女共同参画推進条例」ができて20数年経ち、見直しの必要性がでてきている。
- 30年以上前から社会、地域、家庭において発言するたびに、男社会だと感じてきた。
- 子どもの頃から男女共同参画を学んできた者として、今は周囲との意識の違いに戸惑うことがある。
- 各種委員会等において女性委員の割合が少なく、市議会議員に女性が一人もいない。

## ◆女性が元気に暮らせる社会にするためには

- 男女共同参画の組織において世代間交流が少なくなっている。一つの組織を作るのは難しいので世代ごとに別の組織で活動し、お互いが学んで行けば良いのでは。
- 男女それぞれが持つ固定観念を取り払わなければならない、特に男性の意識改革が必要。
- 市の審議会委員の選出には年齢制限がなく、高齢者でも参加できる。まちづくりにおいては若い人だけでなく色んな世代が必要。
- 審議会などにクォーター制を導入したらどうか。
- 県の男女共同参画センター「よりん彩」があるため、市行政の活動が分かりづらくなっている。（鳥取市、米子市にはセンターがあり活動は活発だが、倉吉にはない。）

## ◆「日本女性会議」開催に向けて

- 「日本女性会議」をすることで、自分の地域で持てる力を発揮しどう貢献していくか、「住民力」をどうつけていくか等について、全国のたくさんの知恵が貰えるのではないかな。
- 分科会（テーマ）をどうするか、倉吉市をどのようにしていきたいかを共有できる会になれば。
- よりん彩フォーラムの倉吉版のようなものをしてどうか。
- 倉吉市には「市集会」があり、そのノウハウを使い、市集会を膨らませて「日本女性会議」につなげてみてもいいのではないかな。

## ◆市長より

- 参加されている方の共通認識としては「まだまだ男社会は変わっていない」ということ。その上で、倉吉にとって、女性が暮らしやすい、働きやすい、生活しやすいまちをどのようにつくっていきければよいか考えていきたい。
- 「日本女性会議」という選択肢もあってもいいが、財政的にみてもこれまでの実施自治体と同じ事をするのは厳しい。やるとすれば、市集会を活用しながら等、倉吉市に合った形を考えていきたい。
- 「よりん彩」があることによって市の取組が不十分という側面があるのではという指摘については、よく研究させてもらい、市としての男女共同参画の取組や「よりん彩」との関わり方をどうしていくかについて考えていきたい。
- 女性委員のこと、クォーター制について点検する。